

2018 年度

聖学院大学

人間福祉スーパービジョンセンター

年次報告書

聖学院大学総合研究所

はじめに

当センターは2008年に設立され、設立当初から年2回のピア・スーパービジョンの開催のほか、個別スーパービジョン、グループ・スーパービジョン、スーパーバイザー支援制度を実施してきております。

2018年度のピア・スーパービジョンでは、10月には大野和男氏（当センタースーパーバイザー、元聖学院大学非常勤講師）と柏木昭氏（当センター顧問、スーパーバイザー、本学名誉教授）、2月には田村綾子氏（当センタースーパーバイザー、本学教授）と柏木昭氏による対談に、卒業生をはじめ医療福祉現場の職員らが耳を傾けました。長年スーパーバイザーとして多くのソーシャルワーカーの実践に耳を傾けてこられた先輩方の講演をお聞きし、対人支援の尊さ、価値、魂を再認識いたします。同時にその権威性や危うさを自覚し、身の引き締まる時を持つことができました。

個別スーパービジョンでは、1箇月に1回、もしくは2箇月に1回、なかには半年に1回などそれぞれのスーパーバイザーのペースに応じて実施しています。グループ・スーパービジョンは規定の人数に達さないことから、2018年度も開催に至りませんでした。一方で、県や市、事業所等が主催するスーパービジョン研修等に本センターのスーパーバイザーが継続的にかかわっている事業が報告されています。

スーパービジョンは日本において、とりわけ福祉領域においては未確立な状況にあります。福祉職員たちはスーパーバイザーがいないなかで日々「ここで、今」のかかわりの最前線に置かれていると言えます。本センターは孤立している福祉現場で悪戦苦闘する職員の皆様が一つひとつのかかわりをふりかえり、「ここはよかったんだ」と思うことや、「ここは課題だったんだ」と具体化することで、曇っていた景色が少しでも晴れて、次なるかかわりへ踏み出すことができることを引き続き応援したいと思っております。

2019年3月

聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科／人間福祉学部人間福祉学科教授
聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンターセンター長
相川 章子

目次

I. 事業概要	3
1) 目的	3
2) 実施体制	3
3) プログラム	3
4) 報告書様式	4
II. 事業実績	5
1) スーパービジョンセンター委員会	5
2) スーパービジョン事業	6
(1) 聖学院大学グループ・スーパービジョン	6
(2) 個別スーパービジョン	6
(3) ピア・スーパービジョン	6-7
III. 2018年度予算	8
IV. 決算（2018年3月31日）	8
資料1 委員会記録	9-17
資料2 グループ・スーパービジョンへのお誘い	18-19
資料3 ピア・スーパービジョンプログラムと報告	20-25

I. 事業概要

1) 目的

社会福祉の現場では、日々、さまざまな戸惑い、失敗、ゆれに直面することは少なくない。その結果、不安を抱えて仕事を続けることになり、孤立する人、未来を描けない人も少なくない。これらの壁を乗り越え、燃え尽きない(バーンアウトしない)ための方法として、「スーパービジョン」がある。スーパービジョンとは、スーパーバイザー(熟練したソーシャルワーカー*)が、スーパーバイジー(経験の浅いソーシャルワーカー)に対し、その人の能力が最大限に引き出され、活用されるように支援するものである。具体的には、困難状況や事例に対する関わり方、不安や戸惑いに耳を傾け、受容し、有効なアドバイスをするものである。

2) 実施体制

＜スーパービジョンセンター委員＞

センター長：相川章子 聖学院大学心理福祉学部教授

委員長：相川章子 聖学院大学心理福祉学部教授

委員：牛津信忠、小沼聖治、柏木昭、助川征雄、田村綾子、中村磐男

3) プログラム

○ 個別スーパービジョン

スーパーバイザーによる個別のスーパービジョン(原則毎月1回程度)

○ グループ・スーパービジョン ※2018年度は開催定員に満たず中止となった。

スーパーバイザーによるグループ・スーパービジョン(毎月1回)

○ 研修交流会 ピア・スーパービジョン(年2回開催)

主にスーパービジョンに関する実践理論の勉強や経験交流の場を提供する研修会

○ スーパーバイザー支援制度、同グループ版

すでにスーパービジョンを行っている人々をサポートする制度

＜場 所＞ 聖学院大学 他

＜スーパーバイザー＞

相川章子(精神保健福祉士)：心理福祉学部心理福祉学科教授、聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンターセンター長・スーパービジョンセンター委員会委員長

大野和男(社会福祉士・精神保健福祉士)：NPO法人ドレミファ会副理事長、元聖学院大学非常勤講師

小沼聖治(社会福祉士・精神保健福祉士)：心理福祉学部心理福祉学科助教・公益社団法人日本精神保健福祉士協会認定スーパーバイザー

柏木昭(聖学院大学名誉教授・聖学院大学総合研究所名誉教授・公益社団法人日本精神保健福祉士協会名誉会長、聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター顧問)

助川征雄(精神保健福祉士)：聖学院大学大学院人間福祉学研究科客員教授・全国精神保健福祉相談員会相談役

田村綾子(社会福祉士・精神保健福祉士)：心理福祉学部心理福祉学科教授・公益社団法人日本精神保健福祉士協会副会長、認定スーパーバイザー

廣江仁(社会福祉士・精神保健福祉士)：社会福祉法人養和会理事長・元聖学院大学非常勤講師、公益社団法人日本精神保健福祉士協会認定スーパーバイザー)

行實志都子(社会福祉士・精神保健福祉士)：神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科准教授、元聖学院大学非常勤講師

＜コーディネーター＞

牛津信忠：聖学院大学大学院人間福祉学研究科客員教授

中村磐男：聖学院大学名誉教授

*熟練したスーパーバイザーとは(社)日本精神保健福祉士協会認定スーパーバイザーとして精神保健福祉士国家資格を有する者などを言う。

4) 報告書様式

聖学院総合研究所事務室宛 (FAX 048-781-0421)

聖学院大学 人間福祉スーパービジョンセンター

実 施 報 告 書

年 月 日

スーパーバイザー氏名			
スーパーバイザー氏名		(GSV 記入)	人
実施スーパービジョン	<input type="checkbox"/> 個別スーパービジョン		
	<input type="checkbox"/> グループ・スーパービジョン		
	<input type="checkbox"/> スーパービジョン支援制度		
実施年月日	年 月 日 ()		
実施時間	AM PM	時 分 ~	時 分
実施場所	① 聖学院大学 (教室名)		
	②		
	③		
	④ その他 ()		
事務局への要望			
質問			
その他			
相談料	金額 (支払方法)	会計担当	事務担当

II. 事業実績

1) スーパービジョンセンター委員会

第1回委員会：6月20日（水）11:30-12:30

場 所：4号館4405教室

出席者：相川章子、牛津信忠、小沼聖治、柏木昭、助川征雄、中村磐男

欠席者：田村綾子

事務局：菊池美紀、浅倉隆司(記録)

第2回委員会：9月26日（水）11:00-12:15

場 所：4号館4405教室

出席者：相川章子、牛津信忠、小沼聖治、柏木昭、助川征雄、中村磐男

欠席者：田村綾子

事務局：菊池美紀、浅倉隆司(記録)

第3回委員会：11月14日（水）11:15-12:45

場 所：4号館4405教室

出席者：牛津信忠、小沼聖治、柏木昭、助川征雄、田村綾子、中村磐男

欠席者：相川章子

事務局：菊池美紀、浅倉隆司(記録)

第4回委員会：1月9日（水）11:00-12:40

場 所：4号館4405教室

出席者：相川章子、牛津信忠、小沼聖治、柏木昭、助川征雄、田村綾子、中村磐男

事務局：菊池美紀、浅倉隆司(記録)

第5回委員会：2月20日（水）14:00-15:25

場 所：4号館4405教室

出席者：相川章子、牛津信忠、小沼聖治、柏木昭、助川征雄、田村綾子、中村磐男

事務局：菊池美紀、浅倉隆司(記録)

各回の内容については、後ページ【資料1】内に掲載する。

2) スーパービジョン事業

(1) 聖学院大学グループ・スーパービジョン

(聖学院大学 原則第4火曜日 18:00~20:00)

6月より予定し参加者を募集していたが、開催定員に満たず中止となった。

案内チラシは、後ページ【資料2】内に掲載する。

(2) 個別スーパービジョン

<相川章子>

実施回数：延べ7回

場 所：相川研究室

人 数：1名

<大野和男>

実施回数：延べ17回

場 所：4号館4405教室他

人 数：3名

<廣江 仁>

実施回数：延べ4回

場 所：聖学院新館他

人 数：1名

(3) ピア・スーパービジョン

①第22回ピア・スーパービジョン 2018年10月13日(土) 13:30~16:30

場所：聖学院大学4号館4階4402教室(第一会議室)

人数：28名(関係者含む総人数)

内容：

第一部 対談「ソーシャルワークにおけるスーパービジョン」

対談者 大野和男(おおのかずお) 社会福祉士・精神保健福祉士、NPO法人ドレミファ会
副理事長、元聖学院大学非常勤講師

柏木昭(かしわざあきら) 聖学院大学名誉教授、聖学院大学総合研究所名誉教授、
公益社団法人日本精神保健福祉士協会名誉会長、聖学院大学人間福祉スーパービジョン
センター顧問

コーディネーター：相川章子(あいかわあやこ) 精神保健福祉士、聖学院大学心理福祉
学部心理福祉学科教授、聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター長

第二部 ピア・スーパービジョン

導入(SW-net)、グループ・ディスカッション、グループ発表(全体共有)、
総まとめ

②第23回ピア・スーパービジョン 2019年2月2日(土) 13:30~16:30

場所：聖学院大学 4 号館 4402 教室（第一会議室）

人数：17 名（関係者含む総人数）

内容：

第一部 対談「ソーシャルワーク・スーパービジョンの可能性」

対談者 柏木昭（かしわざあきら） 聖学院大学名誉教授、聖学院大学総合研究所名誉教授、
公益社団法人日本精神保健福祉士協会名誉会長、聖学院大学人間福祉スーパービジョン
センター顧問

田村綾子（たむらあやこ） 社会福祉士・精神保健福祉士、聖学院大学心理福祉学部
心理福祉学科教授、公益社団法人日本精神保健福祉士協会副会長・認定スーパーバイザー

第二部 ピア・スーパービジョン

導入（SW-net）、ピア・スーパービジョン、全体共有・まとめ

ピア・スーパービジョンプログラムは、後ページ【資料3】内に掲載する。

III. 2018 予算

【収入】

項目	内容	金額
受講料	個別スーパービジョン	110,000
	グループ・スーパービジョン	8,000
	スーパーバイザー支援制度	10,000
合計		200,000

【支出】

項目	内容	金額
報酬・委託・手数料	スーパーバイザー報酬 (個別・支援・支援グループ)	160,000
旅費交通費	SVC 委員会・PSV 交通費 (教員)	35,000
印刷製本費	名刺作成 (柏木先生)	5,000
合計		200,000

IV. 2018 決算 (2019 年 3 月 31 日)

【収入】

項目	内容	金額
受講料	個別スーパービジョン	174,000
	グループ・スーパービジョン	0
	スーパーバイザー支援制度	0
合計		174,000

【支出】

項目	内容	金額
報酬・委託・手数料	スーパーバイザー報酬 (個別 SV)	156,929
旅費交通費	SVC 委員会・PSV 交通費 (教員)	20,114
通信・運搬費	グループ SV 案内 (料金後納郵便)	288
印刷製本費	未使用	0
合計		177,331

【資料1】2018年度 スーパービジョンセンター委員会記録

第1回委員会：6月20日（水）11:30-12:30

場所：4号館 4405 教室

出席者：相川章子、牛津信忠、小沼聖治、柏木昭、助川征雄、中村磐男

欠席者：田村綾子

事務局：菊池美紀、浅倉隆司(記録)

1. 前回議事録承認（一部修正の上承認）

2. 報告事項

(1) 個別スーパービジョン

助川：松崎さん⇒6/28（木）相談の依頼あり

相川：古関さん⇒3/14、4/25 実施済

田村：実施なし

大野：兒玉さん⇒4/20 実施済、8/17 実施予定

石井さん⇒3/14、4/25、5/16 実施済、6/20 実施予定

(2) スーパーバイザー支援制度

(3) グループ・スーパービジョン

○聖学院大学グループ・スーパービジョンについて

事務より報告

- ・2018年度は大学キャンパス内で火曜日（8月のみ水曜日）開催予定であったが、申込締切日（6/19）現在申込者3名のため、6/20 田村先生へ開催の可否を確認の上、2018年度は開催しないこととなった。

○その他

助川：さいたま市こころの健康センター⇒年2回の開催で日程等調整中

東京MSW協会（2期目）

相川：杜の家（月1回のコンサルテーション）スタッフを含めピアスーパービジョンを実施

田村：医療法人財団シロアム会 地域活動支援センターかなめ（平山先生が関与の法人の地域活動支援センター）

(4) さいたま市社協のSVR 養成基礎講座、四国更生保護委員会 SVR 養成研修

田村：

3. 活動について、検討確認事項

(1) 2018年度PSV日程について⇒2018/10/13（土）、2019/2/2（土）

10/13（土）の講師については、田村綾子先生を講師として依頼

(2) スーパーバイザー、コーディネーターの委嘱状について

- ・お送りする先生（相川先生、小沼先生、柏木先生、助川先生、田村先生、大野先生、

行實先生、廣江先生) ⇒コーディネーターの委嘱状については、省略可で承認。

事務より

委嘱状に添付する挨拶文についてご依頼します。⇒原文通り承認

(3) 年次報告 (2017 年度) について

聖学院情報発信システム SERVE に掲載予定。追加修正等の締切 6/8 (金) ⇒6/27 (水) に変更
→肩書、資格について確認後修正

(4) その他

・ホームページ掲載の先生方の肩書について⇒確認後修正。

掲載時期については年次報告と同時期に掲載予定。

・2018 年度スーパービジョンセンター・リーフレットについて⇒確認後修正

第 2 回委員会 : 9 月 26 日 (水) 11:00-12:15

場所 : 4 号館 4405 教室

出席者 : 相川章子、牛津信忠、小沼聖治、柏木昭、助川征雄、中村磐男

欠席者 : 田村綾子

事務局 : 菊池美紀、浅倉隆司(記録)

1. 前回議事録承認 (一部修正の上承認)

2. 報告事項

(1) 個別スーパービジョン

助川 : 実施なし

相川 : 古関さん 4/25 実施、5・6 月実施済 (報告書は 9 月中に提出)

田村 : 実施なし

大野 : 兒玉さん 4/20 実施、8/17 実施予定⇒本人の都合により中止
⇒10/26 実施予定⇒本人の都合により中止

石井さん 4/25、5/16、6/20、7/18、8/22、9/19 実施、10/31 実施予定

平八重さん (新規) 8/3 実施、9/28 実施予定

廣江 : 森さん 5/20、6/16、8/4 実施

(2) グループ・スーパービジョン

○聖学院大学グループ・スーパービジョンについて

事務より報告

・5/31 の締切を 6/19 迄延長したが、申込者は 3 名で中止となった。(ミヤチヤコ、ヒラハトモキ、マツトノゾミ)

(3) その他

助川 : さいたま市こころの健康センター (※年間 2 回開催→実施日については後日確認の上報告)

東京都医療社会事業協会 (3 期目 年間 10 回開催・参加者 : 5 名)

9/14より東村山グループ・スーパービジョンを新規に開催。隔月実施。参加者：20名

相川：杜の家（月1回のコンサルテーション）スタッフを含めピア・スーパービジョンを実施
→毎月第3木曜日に開催。ピアサポーター4名、コーディネーター1～2名で実施中。

田村：医療法人財団シロアム会 地域活動支援センターかなめ（平山先生が関与の法人の地域活動支援センター）
さいたま市社協のスーパーバイザー養成講座：8/3初回実施済。参加者：40名以上。
→次回（応用編）は11月に開催予定。

【検討事項】

中村先生より、各スーパーバイザーの活動について可視化し、センターの活動につなげられないかとの提案があった。

広報的な側面も踏まえ、研究所ホームページ等を通じて外部へ発信出来る方策を事務で検討し、次回のスーパービジョンセンター委員会で提案することとなった。

あわせて学外への「スーパーバイザー派遣制度」実施の可能性についても検討し、センターの活動実績を増やしていくことも検討していくことが確認された。

3. 活動について、検討確認事項

(1) ピア・スーパービジョン（10/13（土）開催）について【資料1】

事務局にてチラシの原案を作成し、相川委員長及び委員の先生方の確認後、8/9付にて総合研究所ホームページに公開済。相川委員長より学科のホームページへの掲載依頼があり、両学科長の了解を得て公開した。

その他、S Wnetより案内メール配信を依頼。案内メールについては順次送信を行い、8月末迄には全て送信完了した。

また、当初昼食会（懇親会）を予定していたが、行わないことで決定した。

9/26現在の申込者数は5名。

また、第23回のピア・スーパービジョンの日程は2/2（土）開催を確認した。

【検討事項】

現在、ピア・スーパービジョンについては参加費を徴収していないため、茶菓や講師謝礼を支出出来ない状況であることが確認された。

参加費を徴収し茶菓や講師謝礼を支払える状況に出来ないか、また、民間の研究助成制度等を獲得出来ないか、等の意見が出され、次回以降のスーパービジョンセンター委員会で、来年度に向けての検討課題とすることとなった。

事務より

(1) 委嘱状について

相川先生、小沼先生、助川先生、田村先生、大野先生⇒各先生方へ6/20配布済。

柏木先生、行實先生、廣江先生⇒各先生方へ6/20 郵送済。

(2) 年次報告 (2017 年度) について

聖学院情報発信システム SERVE に 7/7 (土) 掲載済。

(3) ホームページ掲載の先生方の肩書について⇒記載事項を先生方に確認・修正の上、

総合研究所ホームページに 7/30 (月) 掲載済。

第3回委員会：11月14日(水) 11:15-12:45

場 所：4号館 4405 教室

出席者：牛津信忠、小沼聖治、柏木 昭、助川 征雄、田村綾子、中村 馨男

欠席者：相川 章子

事務局：菊池美紀、浅倉隆司(記録)

1. 前回議事録承認 (原案通り承認)

※第3回次第の一部に修正あり

2. 報告事項

(1) 個別スーパービジョン

助川：実施なし

相川：古関さん 5/22、6/27、9/19、10/24 実施 (報告書 10/26 提出済)

田村：実施なし

大野：兒玉さん 12/7 実施予定⇒本人の都合により中止⇒12/14 実施予定

石井さん 10/31 実施、11/28 実施予定

平八重さん 9/28 実施、11/16 実施予定

廣江：森さん 5/20、6/16、8/4 実施

(2) グループ・スーパービジョン

○2018 年度聖学院大学グループ・スーパービジョンは中止となった。

(4) その他の活動

助川：さいたま市こころの健康センター (※年間2回開催で調整中)

東京都医療社会事業協会 (3 期目 年間 10 回開催)

相川：杜の家 (年 1 回のコンサルテーション) スタッフを含めピア・スーパービジョンを実施

田村：医療法人財団シロアム会 地域活動支援センターかなめ (平山先生が関与の法人の地域活動支援センター)

さいたま市社協の SVR 養成基礎講座 (第 2 回目：11/6 終了)

(4) その他

1) 総合研究所 Newsletter 28-1 にスーパービジョンセンター年次報告書を掲載した。

2) 第 21 回ピア・スーパービジョン報告書を心理福祉学科及び人間福祉学科のホームページに掲載した。

3. 活動について、検討確認事項

(2) 第22回ピア・スーパービジョンについて【資料1・2】

2018年10月13日(土)に第22回ピア・スーパービジョンが開催された。
参加者は28名(一般7名(SWnet含む)・本学学生12名・教員6名・スタッフ3名)であった。

事務側からの振り返り(反省点)は資料2の通りである。
主催者側(SWnet)の振り返りは第23回ピア・スーパービジョン開催打合せ(12月若しくは1月)の際に行う予定。(SWnet事務担当:山田裕太氏より)

【反省点(教員より)】

対談であったが、シンポジウム形式になってしまい、参加者の方々には違和感があったかもしれない。

次回からは対談とシンポジウムをしっかりと区別して臨みたい。(柏木先生より)

【検討事項(教員より)】

昨年度の卒業式の日相川章子先生とパンフレットを配布したが、今年度は卒業生の参加者を増やすために、社会福祉や精神保健福祉等の最後の授業時にピア・スーパービジョンについて説明を行い、卒業式の時にパンフレットを渡し、宣伝したらどうか。(小沼先生より)

後援の許可がもらえれば精神保健福祉士協会のホームページにリンクを貼ってもらうことは可能であるかもしれない。また、社会福祉士協会のホームページにリンクを貼る場合には、都道府県単位の社会福祉士協会へ依頼するのが良いかもしれない。(田村先生より)

【検討事項(事務より)】

キャリアサポートセンターを通じて、福祉施設等に就職する学生にパンフレットの配布を検討したい。

また、埼玉県内の福祉施設等に案内を送付できないか、と考えている。

(3) 第23回ピア・スーパービジョンについて

第23回ピア・スーパービジョンは2019年2月2日(土)開催することを第2回スーパービジョンセンター委員会で確認した。

講師・開催スケジュール等について協議いただきたい。

【検討事項】

- ・講師については、第一候補として田村綾子先生、第二候補として助川征雄先生が候補として挙げられたが、講演のテーマを含め正式決定については継続審議とされた。
- ・テーマとして、“子どものケア”など、“ケアラー”の視点も提案されたが、講師謝礼等の面から見送りとなった。
- ・財源確保、スーパービジョンへのハードルを下げる方法などについても検討されたが、結論は出ず、継続課題とされた。

(事務より)

年内に告知を行いたい関係上、12月末迄に素案を出していただきたい。

(4) 2019年度の活動予定について

スーパービジョンセンターの活動予定について協議いただきたい。

- ・グループ・スーパービジョン
- ・ピア・スーパービジョン
- ・その他（年次報告書、活動報告のホームページ掲載、他）

（事務より）2018年度の年次報告書については、先生方に執筆及び記載内容の確認をお願いすることとなるので、予めご了承いただきたい。

(5) Web上での外部への情報発信の件について

（事務より）フェイスブックやツイッターで情報発信し、その中にスーパービジョンセンターのホームページのリンクを貼り、活動報告がpdf等で見られるようにしたらどうか。

（事務より）審議の結果、ツイッターで情報発信することが了承された。ツイッターの発信は事務が行い、検討課題となっていたSNSを利用したSVCの活動紹介について、先生方には情報の提供をお願いしたい。

第4回委員会：1月9日（水）11:00-12:40

場 所：4号館4405教室

出席者：相川章子、牛津信忠、小沼聖治、柏木 昭、助川征雄、田村綾子、中村磐男、

事務局：菊池美紀、浅倉隆司（記録）

1. 前回議事録承認（12/3議事録データ送付、確認済）

2. 報告事項

(1) 個別スーパービジョン

助川：実施なし

相川：古関さん 12/26実施（契約回数（10回）終了。今後は半年に1回の定期実施を希望。）

田村：実施なし

大野：兒玉さん 12/14実施、2019/4/26実施予定

石井さん 11/28、12/26実施、2/6実施予定

平八重さん 11/16実施予定⇒大野先生の都合で中止⇒1/11実施予定

廣江：森さん 12/2実施（2019年度終了。）

(2) グループ・スーパービジョン

○2018年度聖学院大学グループ・スーパービジョンは中止となった。

(3) その他の活動

助川：さいたま市こころの健康センター（※年間2回開催で調整中）

東京都医療社会事業協会（3期目 年間10回開催）

相川：杜の家（年1回のコンサルテーション）スタッフを含めピア・スーパービジョンを実施

田村：医療法人財団シロアム会 地域活動支援センターかなめ（平山先生が関与の法人の地域活動支援センター）
さいたま市社協のSVR養成基礎講座（第2回目：11/6終了）

3. 活動について、検討確認事項

(6) 第23回ピア・スーパービジョンについて【資料1】

第23回ピア・スーパービジョンの講師は柏木先生と田村先生で了承された。
開催内容等についてご意見・ご要望等があればお伺いしたい。

(7) 2019年度の活動予定について

スーパービジョンセンターの活動予定（開催日程の詳細）について協議いただきたい。

- ・グループ・スーパービジョン
- ・ピア・スーパービジョン
- ・その他（年次報告書、活動報告のホームページ掲載、他）

(8) スーパービジョン研究会の新規立ち上げの件について

（事務より）

研究会立ち上げの可能性について、総合研究所委員会にて検討の予定。

(9) スーパービジョンセンターのツイッター登録について

（事務より）

スーパービジョンセンターとして、ツイッターのIDを取得した。

先生方の活動等について、発信出来るものがあればお知らせいただきたい。

（スーパービジョンセンターのツイッターID：@seig-SV）

第5回委員会：2月20日（水）14:00-15:25

場 所：4号館4405教室

出席者：相川章子、牛津信忠、小沼聖治、柏木昭、助川征雄、田村綾子、中村磐男

事務局：菊池美紀、浅倉隆司（記録）

1. 前回議事録承認（原案通り承認）

2. 報告事項

(1) 個別スーパービジョン

助川：実施なし

相川：実施なし

田村：実施なし

大野：兒玉さん 2019/4/26実施予定

石井さん 2/6実施、3/13実施予定

平八重さん 1/11実施、3/15実施予定

廣江：実施なし

(2) スーパービジョン研究会（仮）の新規立ち上げの件について

第4回スーパービジョンセンター委員会にて方向性が承認された。「スーパービジョン研究会（仮）」について、その後の状況が次の通り報告された。

⇒「人間福祉総合研究センター」の中で現在休会中の「福祉のこころ研究」の活動を再開し、並列して「ソーシャルワーク研究」を立ち上げる方向で第2回総合研究所委員会にて検討がなされた。

研究会の目的・構成員等具体的な内容については今後検討するとの報告がなされた。

（相川先生より）

【事務より】

第3回総合研究所委員会にて「ソーシャルワーク研究」の設立を提案し、承認が得られれば、2019年度から研究会として活動出来るようになる。

研究会と補助活動事業との切り分けについては、十分注意していく必要がある。

3. 活動について、検討確認事項

第23回ピア・スーパービジョンについて【資料1・2】

2019年2月2日（土）に第23回ピア・スーパービジョンが開催された。

参加者は18名（一般8名（SW-net含む）・教員7名・スタッフ3名）であった。

事務側及び主催者側（SW-net）からのふりかえり（反省点）は資料2の通りである。

当日参加された先生方からもお気づきの点やご意見等あればお伺いしたい。

【反省点（教員より）】

・対談そのものが参加者に与えた影響については定かではないが、良い対談だったと思う。
但し参加者が少なかったのが残念であった。（柏木先生より）

・参加者が少なかった点については、後日SW-netのメンバーと今後の運営について考える機会を持つ予定である。また、法人広報課の松田職員がSW-netの深瀬氏にインタビューを行ったとの報告がなされた。（相川先生より）

2019年度の活動予定について

2019年度のスーパービジョンセンターの活動予定（開催日程の詳細）について協議いただきたい。

・グループ・スーパービジョン

【事務より】

来年度のスーパーバイザーは助川先生が担当することが承認されたが、ご本人から3月末をもって退職し職名もなくなるので、今回の委員会で改めて担当するか否かを協議いただきたいとの連絡があった。

担当スーパーバイザーについて再度協議いただきたい。

また、開催日程・開催時間・開催方法等詳細についても協議いただきたい。

⇒協議の結果、助川先生がスーパーバイザーとして承認された、開催日・開催方法、開催回数、受講料等については継続審議とされた。

・ピア・スーパービジョン

【事務より】

来年度の開催日（案）及び内容等について検討いただきたい。

第1回：10/5（土）13:00～

第2回：2/15（土）13:00～

⇒第1回の開催については、「福祉のこころ研究」代表の中谷先生と相談し、前段を「福祉のこころ研究」として開催し、人間福祉学科創設の思い等を、卒業生を交えて同窓会的に集まれる場としたい。（相川先生より）

・スーパービジョンセンター委員会開催日程（案）について

【事務より】

第1回：5/22（水）・第2回：9/18（水）・第3回：11/20（水）・第4回：1/8（水）・

第5回：2/19（水）（※何れも11:00～12:00）

開催日程及び開催時間について検討いただきたい。

⇒第2回を7/17（水）、第5回を3月中旬に変更して欲しいとの意見が出された。

・2018年度年次報告書について

【事務より】

2018年度年次報告書スケジュール（案）

・「はじめに」執筆 執筆者：相川章子先生 締切：4月中旬

・報告部分作成 作成：事務

・掲載内容確認 担当者：委員各位 実施：4月中旬～5月中旬

・完成・公開 第1回SVC委員会

報告書の公開等

・全体・・・第1回SVC委員会承認を経て、SERVEにて公開

・抜粋・・・NL29-1（10月発行予定）掲載

・その他

⇒次回の委員会の開催時間が11時30分と記載されているが、11時に変更して欲しいとの意見が出され、11時開催とすることとした。

【資料2】

聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター

2018年度 グループ・スーパービジョンへのお誘い

保健・医療・福祉現場や企業で対人援助の仕事をしている方々へ

指導をしてくれる先輩職員がいない・・・
先輩職員が忙しそうで、聞きたくても聞けない・・・
諸事情で新人教育ができない・・・
よくわからないまま目の前の仕事をこなしている・・・

—そんな不安や戸惑いを抱えながら働いている人は少なくありません—

グループ・スーパービジョンは
仲間とともに学び成長しあえるプログラムです。

2018年度は6月から開講します。実践のレポートをもとに自身のソーシャルワーカーとしてのかわりについて互いにふりかえる機会を持ちましょう。

日 時：2018年6月～3月 原則第4火曜日（※8月のみ水曜日、12月は第3火曜日）
18：00～20：00
予定：6/26、7/24、8/22、9/25、10/23、11/27、12/18、1/22、2/26、3/26

会 場：聖学院大学
（宮原駅（JR 高崎線）学生バス 10分または徒歩 20分・西大宮駅（JR 川越線）学生バス 10分・日進駅（JR 川越線）徒歩 20分）


費 用：¥30,000

担 当：田村綾子（聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科教授、公益財団法人日本精神保健福祉士協会副会長・認定スーパーバイザー）

定 員：10名（お申込み人数が6名から開催します。）

- ◆原則として1年を通して参加していただくことになります。
- ◆受講申込書に必要事項を記入し写真添付の上、郵送でお申し込みください。
- ◆申込締切 2018年6月19日(火)必着
- ◆ご不明な点はお気軽にお尋ねください。

聖学院大学
人間福祉スーパービジョンセンター
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号
TEL 048-725-5524 FAX 048-781-0421
E-mail: research@seigakuin-univ.ac.jp



The map shows the location of Seigakuin University (聖学院大学) in Maegashi, Saitama. It highlights the 'Seigakuin University Station' (聖学院大学駅) and 'Maegashi Station' (宮原駅). It also shows the 'Seigakuin University Bus Stop' (聖学院大学バス乗り場) and 'Maegashi Station Bus Stop' (宮原駅バス乗り場). The map includes labels for 'JR 高崎線' (JR Maebashi Line), 'JR 川越線' (JR Kawaguchi Line), and 'JR 埼京線' (JR Saikyo Line). Other landmarks like 'マクドナルド' (McDonald's) and 'セブンイレブン' (7-Eleven) are also marked.

その他のプログラムのご紹介

ご希望の方は、同封の受講申込書にご記入・写真添付の上、下記へご郵送ください
ピア・スーパービジョンは受講申込書郵送以外に、メール・電話でもお申込みいただけます。
ご不明点等お気軽にお問い合わせください。



<個別スーパービジョン>

グループ・スーパービジョンの日時では都合がつかない、個別の事情に合わせた相談をしたいという方へ

日 時：相談の上、希望の日で調整 1回 1.5時間程度

会 場：聖学院大学、その他各地

費 用：1回¥6,000

※講師には、本学心理福祉学科教員の相川章子、田村綾子をはじめ、大野和男、廣江仁など学外からも精神保健福祉士、社会福祉士の資格をもつ教員が講師を務めています。



<スーパーバイザー支援制度>

すでに現場でスーパービジョンを行っている、後輩や部下に指導を行う立場にあるという方へ

日 時：相談の上、希望の日で調整 1回 1.5時間程度

会 場：聖学院大学、その他各地

費 用：1回¥8,000



<ピア・スーパービジョン>

必要な知識や日々の業務を見直す研修会に参加したい、対人援助職同士で情報交換をしたいという方へ

日 時：10月初旬頃を予定しています

会 場：聖学院大学

内 容：講演、報告、グループディスカッション、など

費 用：無 料（ランチ交流会、懇親会に参加する場合は会費別途）



交通アクセス方法

○宮原駅（JR 高崎線）

学生バス 10分または徒歩 20分

○西大宮駅（JR 川越線）

学生バス 10分

○日進駅（JR 川越線）徒歩 20分

時刻表は大学 HP よりご覧いただけます。

聖学院大学 人間福祉スーパービジョンセンター

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号 TEL 048-725-5524 FAX 048-781-0421

E-mail: research@seigakuin-univ.ac.jp

【資料3】



プログラム

2018年10月13日(土)13:30(受付13:00)～16:30 終了予定
聖学院大学4号館4階4402教室(第一会議室)

総合司会 山田裕太(SWnet)

13:30～13:40 開会挨拶 SW-net、SVC

13:40～14:40 対談 「ソーシャルワークにおけるスーパービジョン」
大野和男(おおの かずお)

社会福祉士・精神保健福祉士、NPO法人ドレミファ会副理事長、元聖学院大学
非常勤講師

柏木 昭(かしわざい あきら)

聖学院大学名誉教授、聖学院大学総合研究所名誉教授、公益社団法人日本精神
保健福祉士協会名誉会長、聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター顧問

コーディネーター：相川章子(あいかわ あやこ)

精神保健福祉士、聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科教授、聖学院大学
人間福祉スーパービジョンセンター長

14:40～15:00 質疑応答

15:00～15:10 休憩

15:10～16:25 ピア・スーパービジョン

15:10～15:20 導入 SWnet

15:20～16:10 グループ・ディスカッション

16:10～16:20 グループ発表(全体共有)

16:20～16:25 総まとめ

16:25～16:30 閉会挨拶 SW-net、SVC

♪ 懇親会：プログラム終了後、SWnetの企画による懇親会があります。

会場：「庄や」宮原店(宮原駅東口徒歩2分) TEL 050-5280-2490

時間：17:30～

会費：別途

♪ バス時刻表(チケットフリー日)

宮原駅西口行 15:00、20、40、16:20、40、17:00、20、40

西大宮駅北口行 15:00、40、16:25、17:00、20

聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター（SVC）主催
第22回ピア・スーパービジョン
対談（大野和男・柏木昭）「ソーシャルワークにおけるスーパービジョン」



対談者 左：柏木昭先生 右：大野和男先生

2018年10月13日（土）、聖学院大学4号館4階4402教室にて「第22回ピア・スーパービジョン」（聖学院大学総合研究所人間福祉スーパービジョンセンター主催・SW-net [聖学院ウェルフェアネット] 共催）が開催された。当日は、28名の参加者とともに、充実した時を持つことができた。

I部は大野和男氏（社会福祉士・精神保健福祉士、NPO法人ドレミファ会副理事長、元聖学院大学非常勤講師、聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンタースーパーバイザー）と柏木昭氏（聖学院大学名誉教授、聖学院大学総合研究所名誉教授、公益社団法人日本精神保健福祉士協会名誉会長、聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター顧問）による対談が行われ、コーディネーターを筆者が務めた。精神保健福祉士国家資格化に尽力された二人の対談はこれまでの精神保健福祉をめぐる歴史と両氏の実践の中から得られた経験値が折り重なり、まばたきする間も惜しいような濃厚な時間となった。

筆者が両氏と出会ったのは、大学卒業後、日本精神医学ソーシャルワーカー協会（現・公益社団法人日本精神保健福祉士協会）事務局員として働きはじめた頃だった。入職して間も無く、精神科ソーシャルワーカー単独資格を議員立法で創設することを臨時総会にて決定した年だった。国家資

格化に反対する声も多いなか、両氏はそれぞれ理事長（大野氏）と会長（柏木氏）としてタッグを組んで、日本の精神科ソーシャルワーカー（以下、PSW）牽引し、足掛け10年かけて国家資格化へと導いた。両氏の確固とした信念はクライアントとのかかわりによるものであることを、今回の対談で改めて確認することができた。

まずは大野氏からレジメと資料元に話題提供がなされた。冒頭、「（ソーシャルワーカー）は人々の日々の暮らしのなかで生じたさまざまな困難な生活課題に直接的に関与できる唯一の専門職」であるという言葉から始まった。実のところ社会福祉士、精神保健福祉士は業務独占ではない名称独占の資格であり、その専門性や存在意義は常に危うさが背中合わせである。しかし大野氏のこの言葉で会場全体がまずエンパワメントされ、自覚を新たに対談に耳を傾けたのではないだろうか。その後、現在の社会的状況の変化によりPSWの置かれている状況も変化し、それによって求められることの多様化・複雑化に対応していくためにも、スーパービジョン（SV）の必要性を強調された。自身が昭和40年代半ばに体験した事例検討グループスーパービジョン（GSV）を紹介された。面接場面の録音テープと逐語記録をもとにスーパーバイザー（SVR）やスーパーバイジー（SVE）らとふりかえる。一つ一つに「なぜ？」と問われ、辛いながらも自身のあり様、自己覚知を深め、スキルアップしていったと話された。そして、SVRの信条として、上述した協会の設立趣意書を紹介された。また、PSWの専門性の構築の中で、Y問題（YさんがPSWによって不当に入院させられ人権を侵害されたと訴えた一連の事件）の後、10年間の組織としての自問自答の末、「札幌宣言（1982年）」としてPSWとしてクライアントとかかわりのなかで積み上げてきた理念をまとめられた。そこにPSWは「対象者の社会的復権と福祉のための専門的社会的活動」を推進することを任務とするに至っ

た当時の経緯を紹介された。最後に、Y問題は終わっていない、として2015年に起きたクリニックに勤務するPSWが生活保護窓口で通院誘導していたという新聞記事を取り上げ、「現代的患者狩り」への警笛を鳴らした。

大野氏の話提供を受けて柏木氏より、Y問題におけるご本人不在の「罪」という言葉を用いてPSWとしての重い教訓を繰り返し強調された。そして、「かかわり」を通して「クライアントの自己決定」の原理を改めて説いた。その「かかわり」のなかで、相手と共にある「自分を活用する」としてPSWの「自己開示」について述べられた。「今私はとても悲しい気持ちになった」「私はあなたの話を聞いてどうしたらいいのかと迷っている」など自身の今の気持ちを伝えることで、相手と「ここで、今」共にある（対等な）「かかわり」について具体的に述べられた。そして、ソーシャルワークにおける時間の概念を、絶対的な物理的な「クロノス」時間ではなく、相対的主観的な「カイロス」時間で考えることを説かれた。カイロスの時間概念で、それぞれの「ちょうど良い時間」を「時熟」（村上陽一郎）という言葉を用いて説明された。折しも筆者が時計を見た瞬間を見逃さずに「今、相川さんは時間を気にしていますが、これがクロノス的な時間です」と説明され会場から笑いが溢れた。そしてPSWとして「クライアントの自己決定」「人と状況の全体性」「かかわり」の3点を強調し、時にホワイトボードを使いながら熱のこもった話をされた。

両氏の対談では、両氏が互いに日本におけるPSWの土台を共に作り上げて来られた同士として、また戦友としての信頼関係と同時に、「かずおちゃん」「あきらちゃん」と呼び合うお茶目な一面も、あたたかい雰囲気のなかで進められた。

第Ⅱ部は第Ⅰ部の対談を受けて、参加者の皆様がそれぞれの自身の実践や体験、在學生は実習等に引き寄せながら、受容的な場の中で対話を展開した。

参加者からは「勉強することの必要性、現場力を磨く振り返りの良い機会となった」「自己開示の大きさを改めて学ぶことができた」「日々の業務を改めて振り返り聞くことができた」「忘れかけていた自己決定について改めて考える機会になった。」

「ワーカーの仕事の醍醐味を振り返られることができた」との声をいただいた。日々の業務を振り返り、気づきと学びの刺激を得た時間となった。

当日運営に協力されたSW-netの皆さま、事務局の皆さまに心より感謝申し上げます。

（報告者：相川章子 [あいかわ・あやこ] 聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科教授・当スーパービジョンセンターセンター長）



現場でひとりで
抱え込んで
いませんか。

支援の方法を
悩んでいませんか。

新しい制度や
知識を共有
しませんか。



主 催：聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター(SVC)
共 催：人間福祉学科・SWnet(聖学院ウェルフェアネット
—卒業生を中心とする福祉のネットワーク)

第23回 ピア・スーパービジョン



プログラム

2019年2月2日(土)13:30(受付 13:00)～16:30 終了予定
聖学院大学4号館4階4402教室(第一会議室)

- | | | |
|-------------|----------------------------|---|
| 13:30～13:40 | 開会挨拶 | 助川征雄(すけがわ ゆきお)
精神保健福祉士、聖学院大学大学院人間福祉学研究科客員教授、
全国精神保健福祉相談員会相談役 |
| 13:40～14:40 | 対談 「ソーシャルワーク・スーパービジョンの可能性」 | 柏木 昭(かしわぎ あきら)
聖学院大学名誉教授、聖学院大学総合研究所名誉教授、公益社団法人日本精神
保健福祉士協会名誉会長、聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター顧問
田村 綾子(たむら あやこ)
社会福祉士・精神保健福祉士、聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科教授、
公益社団法人日本精神保健福祉士協会副会長・認定スーパーバイザー |
| 14:40～15:00 | 質疑応答 | |
| 15:00～15:10 | 休憩 | |
| 15:10～16:25 | ピア・スーパービジョン | |
| 15:10～15:20 | 導入 SWnet | |
| 15:20～16:10 | ピア・スーパービジョン | |
| 16:10～16:25 | 全体共有・まとめ | |
| 16:25～16:30 | 閉会挨拶 | SW-net、SVC |

- ♪ 懇親会：プログラム終了後、SWnetの企画による懇親会があります。
会場：「庄や」宮原店(宮原駅東口徒歩2分) TEL 050-5280-2490
時間：17:30～
会費：別途
- ♪ 学生バス
お帰りのバスをご利用の際は、バス乗車券を運転手にお渡し下さい。
- ♪ バス時刻表
宮原駅西口行 15時10、30分、16時10、35、55分、17時15、35、55分
西大宮駅北口行 15時05、40分、16時30、50分、17時25分

【第23回ピア・スーパービジョン報告】

2019年2月2日(土)、聖学院大学4号館4階4402教室(第一会議室)にて「第23回ピア・スーパービジョン」(聖学院大学総合研究所人間福祉スーパービジョン主催・SW-net[聖学院ウェルフェアネット]共催)が開催された。山田裕太氏(SW-net)総合司会のもとで、第一部は、柏木昭氏(聖学院大学名誉教授・当センター顧問)と田村綾子氏(聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科教授・当センタースーパーバイザー)より「スーパービジョンの可能性」とのテーマで対談され、第二部では第一部の対談を受けて、ピア・スーパービジョンとして参加者同士で実践を振り返る時をもった。当日はスーパービジョンセンター委員会委員も含めて17名の参加者が参加された。

第一部は、田村氏よりスーパービジョン(以下、SV)の可能性というテーマ設定の意図について冒頭に述べられて柏木氏との対談が始まった。とりわけの準備をあえてせず、「ここで、今」の思いを出し合っているところを参加者と共有するというスタイルで進められた。互いに両氏の実践場面でのソーシャルワーカーとしての経験や、SV経験などを織り交ぜられ、笑いがたびたびおきるようなあたたかい雰囲気の会となった。

田村氏は、スーパービジョンの捉え方についてソーシャルワーカーは自分を活用して支援するという場合に、自分が道具となる、その道具を定期的にメンテナンスしていく必要があり、それがSVと捉えていると説明された。そしてテーマ設定の意図について、SVを広げていきたい、そのための方法や可能性について議論できればと考えていると話された。

それを受けて、柏木氏からSVの語義についてまず考えたいと投げかけられた。SVという言葉は「上から目線で教え導く」という誤解されがちであるが、スーパーバイザー(以下、SVR)はサポート(支持)に徹し、本当にスーパーバイザー(以下、SVE)が言いたいことを本音で言えているか、そういうかかわりを持っているかということが問われている。解決するのではなく寄り添い、共感することがキーワードであるとし、つまりスーパービジョン関係はソーシャルワーク関係に非常に近いと述べられた。

これに田村氏は、職能団体主催のSVR研修の際に柏木先生からのSVを受けた経験について、支持されたことと同時に、尋ねられることによってさまざまな気づきがあったこと、またある種のクライアント的な経験に近い感覚を持ったことなどを話された。そこで、どうしてもSVRとしてどうしてもSVEを育てたい、気づいて欲しいと思ってしまうのだが、と吐露された。

柏木氏からは、成長することは目的の一つではあるが、目的化してしまうとSVRは物足りなくなるのではないかとした。その上でSVEがどう感じているのかについて話してもらうことが必要で、そこを誘導するのが悩むことがある、と吐露された。そして、そこで大切になるのは、胸襟を開いて、相手に通じる言葉で、ここで今、思っていることを伝える(自己開示)ことが鍵になると再度述べられた。つまり、かかわりは本音を言える媒体であり、そのことが専門性につながるかかわりを持つと話された。そのために演出していることもあると話された。しかし、一方でそのかかわりは「自由」であることも大切だと述べ、そこが難しいところであるとした。

それを受けて、田村氏からは、確かに柏木氏からのSVで、SVEに影響あたえたいといとしすぎると本来から外れてしまいかねない、自分がどうしたいか、何を考えて、何を言おうとしているのかにもっと集中したほうが良いということを学んだと話された。

途中、参加者に意味のある対談になっているのだろうか和田村氏が尋ねられるのに対して、柏木氏は、僕は目の前にいる人のことは考えていない、僕は田村さんとどういう話をしていこうかということだけを考えている。参加者がどういう意味を持って帰るか、考えるかは参加者が考えること、と答えられる場面があり、まさに、意図的に誘導しないSVの在りようを「ここで、今」共有することができた。

重ねて、柏木氏は、自分が何をしたいか、きちんと意識できるかということが問われているのだと、SVEが抱えている課題が気持ちに移っていった進化する。SVRは的確にSVEの言葉を受けるこ

とができるかだと、誤れるSVとして、SVEの問いに答えてしまうSVRの例を挙げて話された。さらに、相手がどう思っているか、受け取っているかは一人一人との対話でしかわかりえないことで、つまりは相手がどう受け取ろうと自由である。こちらが伝えようとしたこととまったく誤って受け取っても構わないことで、大切なのは、おかしいなど考えること自体であると述べられた。

終始、「かかわり」の大切さ、教え導くのではなく支持（サポート）、解決ではなく共感、そのために、SVR（またはソーシャルワーカー）は胸筋を開いて自己開示をするということが話された。

フロアからは、明日がないクライアントはソーシャルワーカーの成長を待てない、失敗したら明日がないという場合もあるときにどうするのか？との当事者としての切実な問いが出された。またSVの可能性として、SVが広がって対人援助職者の専門性として根付いていけば社会がもっと良くなっていくのではないかとの感想も出された。

第二部では、深瀬氏（SW-net）司会のもと、一部の対談を受けつつ、参加者それぞれが現場で抱える課題や感じていることについて話された。現場では、慌ただしいなかで流れてしまっていて、どうしても一人で抱えて終わってしまうことがあり、結局支援が我流になってしまうのではないかということや、共感することや寄り添うことが大切であることはわかっているけどどうしてもできない自分を認められず、責めてしまうということなど、率直な現場の苦勞が出され、互いに自身の経験をもとにその工夫の緒を各自が見出していっているようなピア・スーパービジョンの時となった。

最後に、当日運営に協力されたSW-netの皆様、総合研究所事務局の皆様にご心より感謝申し上げます。

（報告者：相川章子【あいかわ・あやこ】 聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科教授・当スーパービジョンセンターセンター長）